

子の健康・安全へ思い新た

京あんしん子ども館開設20周年を記念した寄付品(手前)と、記念式典に出席した(左から)松井市長、島田会長、長村センター長、京都市中京区・京あんしん子ども館



「京あんしん子ども館」20周年

京都市中京区の京あんしん子ども館(市子関係者が節目を祝い、子ども保健医療相談・事故防止センター)の開設20周年記念式典が23日、中京で講座

同館は2004年8月にオープンし、京都市から京都第二赤十字病院が指定管理を受けて運営している。子どもの発達や急病、けがの相談に応じているほか、事故防止の啓発に取り組んでいる。20周年を記念し、京都南ライオンズクラブ(中京区)の若手会員でつくるピース支部から遮光カーテンなどが贈られ、記念式典では松井孝治市長から同支部の島田真帆会長に感謝状が手渡された。同館の長村敏生センター長は「これからも京都の子育てを全力で応援したい」とあいさつした。(大西幹子)

初めての子の事故予防学ぶ

23日、中京で講座

初妊婦とその家族を対象にした「はじめてのお子さんのためのプレママ・パパ講座」が23日、京都市中京区の京あんしん子ども館(市子ども保健医療相談・事故防止センター)で開かれる。子どもの事故予防策を学ぶ講演や助産師による個別相談会がある。

同館は市が2004年、子どもの死因第一位だった「不慮の事故」を防ごうと開設。事故予防の啓発活動や相談

事業を続けてきた。講座は開設20周年の記念事業で、当日は記念式典も併せて開催する。式典後の講座では、同館の長村敏生センター長が「子どもの発達から事故防止を考える」と題して講演。その後、家庭に潜む危険な場所を再現した体験施設「子どもセーフテ

ィーハウス」の見学会と、助産師による個別相談会を実施する。午後1時15分～3時(講座は午後1時45分ごろ開始予定)。無料。先着順で定員18人。参加者には各種資料や記念品を贈る。講座のみは同館075(231)8002。